

2024年度 司書課程ガイダンス

はじめに

- この資料では、司書課程の履修登録に関する要点だけを説明しています
- 詳細は履修要項p.240-241を参照して下さい
- 履修要項を見ても不明な点は、教務課資格係に質問して下さい

司書

- 図書館法に規定された、公共図書館の専門的職員
- 広義には、大学図書館や専門図書館における図書館員一般の名称としても用いられる
- 図書館職員の求人情報では、応募条件として司書資格を求めている場合が多い

司書資格

- 公共図書館の専門的職員である司書の資格
- 修得要件は以下のいずれかを満たすこと
 - 大学を卒業した者で、大学の司書課程などで図書館に関する科目を履修すること
 - 大学または高等専門学校を卒業したもので、司書講習を修了すること
 - 3年以上司書補として勤務した経験を有するもので、司書講習を修了すること

受講手続き

1. 指定された期間に、教務課資格係の窓口（C棟3階）で受講者原簿を提出して下さい
2. 教務課資格係の窓口（C棟3階）で、司書課程費（10,000円）を納めて下さい
 - C棟3階ロビーの証紙券売機で10,000円分の証紙を購入し、課程費納入票に貼り付けて提出してください

司書資格取得の要件

1. 卒業に必要な単位を修得する
2. 司書に関する科目について、必修科目を13科目、選択科目を2科目以上修得する
 - 履修要項の「本学開講科目（単位数）」の列に、開講されている科目が掲載されています

資格取得に必要な科目(必修科目)

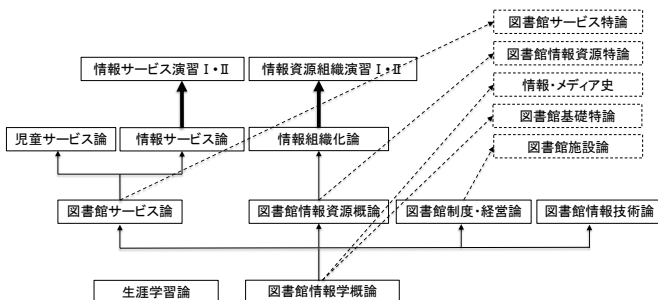
法令上の科目名称 (単位数)	本学開講科目 (単位数)	受講年次
図書館概論 (2)	図書館情報学概論 (2)	1～4
情報資源組織論 (2)	情報組織化論 (2)	1～4
情報サービス論 (2)	情報サービス論 (2)	1～4
図書館サービス概論 (2)	図書館サービス論 (2)	1～4
図書館制度・経営論 (2)	図書館制度・経営論 (2)	1～4
図書館情報資源概論 (2)	図書館情報資源概論 (2)	1～4
図書館情報技術論 (2)	図書館情報技術論 (2)	1～4
生涯学習概論 (2)	生涯学習論 (2)	1～4
児童サービス論 (2)	児童サービス論 (2)※	1～4
情報資源組織演習 (2)	情報資源組織演習 I (1)	1～4
	情報資源組織演習 II (1)	2～4
情報サービス演習 (2)	情報サービス演習 I (1)	1～4
	情報サービス演習 II (1)	2～4
計	22	22

資格取得に必要な科目(選択科目)

選 択	図書館基礎特論 (1)	図書館基礎特論 (1)	2～4
	図書館サービス特論 (1)	図書館サービス特論 (1)	2～4
	図書館情報資源特論 (1)	図書館情報資源特論 (2)	2～4
	図書・図書館史 (1)	情報・メディア史 (1)	2～4
	図書館施設論 (1)	図書館施設論 (1)	2～4
	図書館総合演習 (1)		
	図書館実習 (1)		

選択科目は2科目以上修得すること
(2単位ではない)

司書課程科目間の関係



科目の履修順序

- ・「図書館情報学概論」は最初に履修することが望ましい
- ・前提科目は2年次までに単位取得することが望ましい
- ・それ以外の科目は、履修できる年次で履修するので良い

注意事項(1) 前提科目

- ・ 事前に別科目の単位を修得していなければ履修できない科目がある
「情報サービス論」→「情報サービス演習 I・II」
「情報組織化論」→「情報資源組織演習 I・II」
- ・ 情報サービス演習と情報資源組織演習の「I」と「II」は、いずれを先に履修しても良い

注意事項(2) 履修年次

- ・ 必修科目のうち「情報サービス演習 II」「情報資源組織演習 II」は、2年生から履修可能です
- ・ 選択科目は全て、2年生から履修可能です

注意事項(3) 授業コード等

- 人文学部の学生で「情報組織化論」を卒業単位に加えたい学生は、20A02-***で登録する
- 人文学部の学生で「生涯学習論」を卒業単位に加えたい学生は、20A15-***で登録する
- 「生涯学習論」は、博物館学芸員養成課程における「生涯学習論」で履修しても良い

注意事項(4) 授業定員

- 「情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱ」「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ」は定員(40名)が設けられている
- 「図書館情報資源特論」も、定員による抽選が行われる場合がある
- 上記の授業は4年次、3年次、2年次生の順番で優先的に履修を認める

注意事項(5) 乗入科目

- 「図書館情報資源特論」は、日本文化学科の「古文献入門」と乗入開講している。卒業単位に加えたい学生は「古文献入門」で登録すること
- 「児童サービス論」は、学校図書館司書教諭課程の「読書と豊かな人間性」と乗入開講している。2つの課程を同時に履修する学生は「読書と豊かな人間性」で登録すること

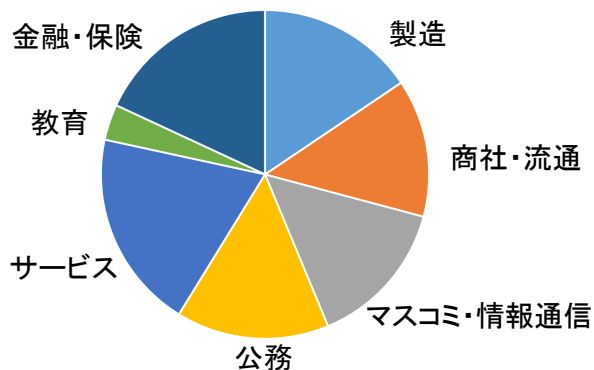
履修計画

- 資格取得に必要な科目を全て履修するには最短でも2年間は必要で、多くの学生は3年間を見込んでおく必要がある
- 履修できる科目は早めに履修する
- 特に、前提科目は出来るだけ早めに履修することが望ましい
 - 「図書館情報学概論」「情報サービス論」「情報組織化論」

全科目の修得に必要な期間

- 1年次～2年次だけで全ての科目を取得するのは難しい学科もある(学科の必修科目との重複のため)
- 1年次から履修すれば、留学しても資格取得は十分に可能
- 教職・学芸員資格との両立は、相当の計画性が必要

参考: 司書資格取得者の進路 (2016-2020)



司書課程の履修者の声(1) 履修して良かった点

- 学科のレポートを作成する際の情報収集に役立った(←多数)
 - データベースを使いこなせるようになった
- 図書館を有効活用できるようになった
- コンピュータ(ExcelやPowerPoint)が以前よりも使えるようになった
- 「図書館研修生」制度に応募できる

司書課程の履修者の声(2) 履修して困った点

- 一部の科目が学科の必修科目と同じ時間に開講されている
 - Q1の月4・木4など
- 5限の科目が多く、帰りが遅くなる
- 集中講義が多い
- どの科目を先に履修すべきか分からない

司書課程の最新情報

- 司書課程の情報は教務課ウェブページで知らせるので、定期的に確認して下さい

The screenshot shows the Nanzan University website's library course information page. The page title is "司書課程" (Library Course). The main content area lists several news items with dates and titles, such as "2018.09.18 【司書】第2回司書課程・学校図書館司書教諭課程講演会について" and "2018.06.22 【司書】第1回司書課程・学校図書館司書教諭課程講演会について". On the right side, there is a sidebar menu with categories like "学芸員・司書" (Librarians) and "司書教諭" (Library Instructors).

The poster is for the "2024年度 第1回 司書課程・学校図書館司書教諭課程講演会" (2024 Annual 1st Library Course and School Library Librarian Course Lecture). The main title is "司書になった卒業生" (Graduates who became librarians). The speaker is listed as "講師 伊豫田直美氏(愛知県図書館) 浅井亮子氏(愛知県図書館)". The date and time are "6月17日(月) 13:00~14:30". A note says "予約不要 参加無料" (No reservation required, free participation). The location is "図書館 NANTOルーム" (Library NANTO Room).